

# 世田谷区における中小企業の景況

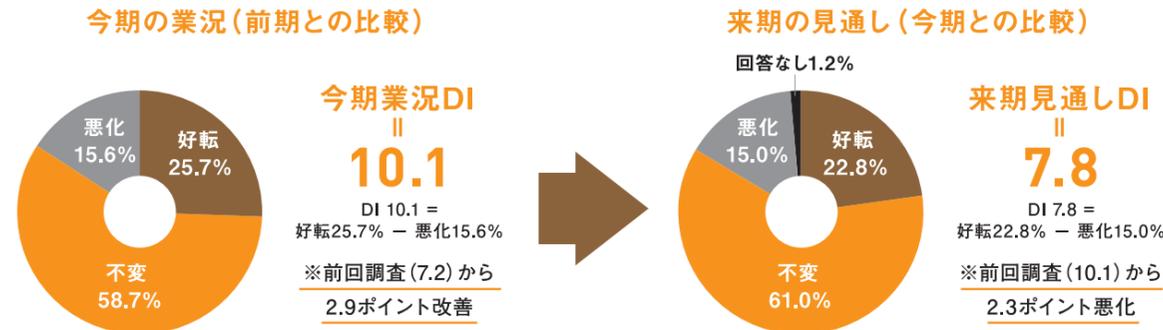
## 第63回調査実施概要

1.調査時期：平成30年4月2日～4月12日 2.対象期間：平成30年1月～平成30年3月期、および平成30年4月～平成30年6月期見通し 3.調査対象：支部会員中小企業(2,967社)①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金

1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAXにて回収。世田谷信用金庫・昭和信用金庫に協力依頼。5.回収状況：合計346社(回収率11.7%) 製造業…38社・不動産業…41社・小売業(飲食業含む)…55社・建設業…67社・卸売業…41社・サービス業…104社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

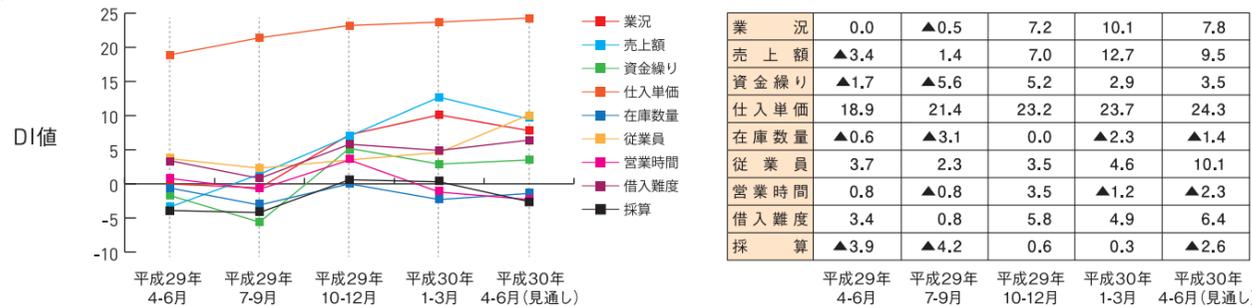
### 業況

今期(平成30年1月～3月期実績)の業況DIは、10.1ポイントで前期から2.9ポイントと2期連続改善された。来期の業況見通しDIは7.8ポイントと、前回調査から2.3ポイント悪化する見通し。



### 主な指標別の傾向

今期は、売上額12.7(前期比+5.8)、従業員4.6(同+1.1)など3指標でポイントが増加し、営業時間▲1.2(前期比▲4.6)、資金繰り2.9(同▲2.3)など5指標でポイントが減少した。来期見通しは、従業員10.1(当期比+5.5)、借入難度6.4(同+1.4)など5指標で改善が見込まれる。



### 主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	10.1	12.7	2.9	23.7	▲2.3	4.6	▲1.2	4.9	0.3
製造業	15.8	15.8	5.3	42.1	▲2.6	15.8	0.0	10.5	0.0
建設業	14.9	16.4	0.0	31.3	▲4.5	11.9	▲1.5	11.9	▲1.5
不動産業	26.8	17.1	14.6	22.0	▲4.9	12.2	2.4	7.3	9.8
卸売業	4.9	0.0	4.9	29.3	▲7.3	2.4	0.0	9.8	▲2.4
小売業	▲3.6	5.5	3.6	18.2	0.0	▲9.1	▲5.5	1.8	1.8
サービス業	7.7	9.6	▲1.9	13.5	1.0	1.0	▲1.0	▲2.9	▲1.9

### 主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

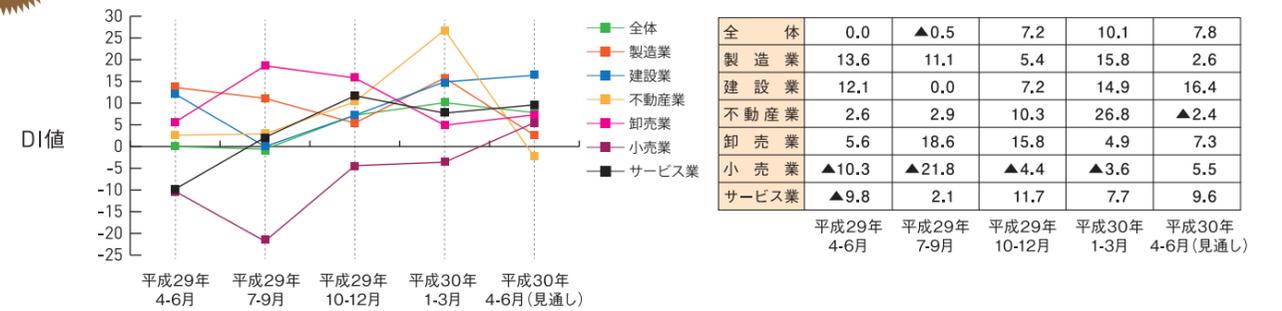
	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	7.8	9.5	3.5	24.3	▲1.4	10.1	▲2.3	6.4	▲2.6
製造業	2.6	5.3	0.0	34.2	2.6	15.8	▲13.2	5.3	▲13.2
建設業	16.4	13.4	7.5	40.3	▲9.0	10.4	▲3.0	19.4	▲6.0
不動産業	▲2.4	0.0	0.0	22.0	2.4	12.2	4.9	4.9	▲7.3
卸売業	7.3	2.4	7.3	39.0	▲9.8	4.9	▲2.4	7.3	2.4
小売業	5.5	5.5	3.6	9.1	5.5	3.6	▲3.6	0.0	3.6
サービス業	9.6	17.3	1.9	13.5	0.0	12.5	0.0	1.9	0.0

概況：<DI(Diffusion Index)とは…> DI(%) = 「良い」「増加」等企業割合 - 「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」したとする企業の割合が多く、景況(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景況が低迷の傾向にあることを示します。

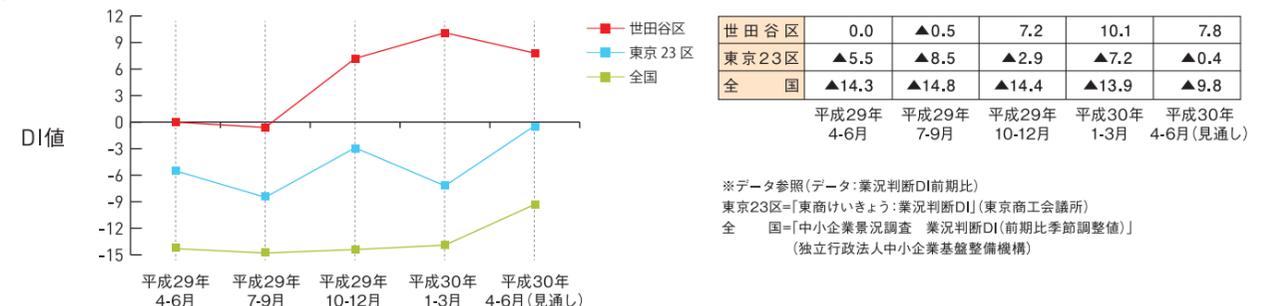
### 業種別の動向

今期の業種別DIは「不動産業」26.8(前期比+16.6)、「製造業」15.8(同+10.4)など4業種で改善した。来期は、「小売業」5.5(当期比+9.1)がプラスに転じ、「卸売業」7.3(同+2.4)など4業種で改善となる見通し。



### 東京都・全国との比較

「世田谷区」(10.1ポイント、前期比+2.9)、「全国」(▲13.9ポイント、同+0.5)は2期連続で改善、「東京23区」(▲7.2ポイント、同▲4.3)は悪化した。来期は、「世田谷区」(7.8ポイント、当期比▲2.3)は悪化する見通しで、「東京23区」(▲0.4ポイント、当期比+6.8)、「全国」(▲9.8ポイント、当期比+4.1)は改善する見通し。



### 経営上の問題点

1位「従業員の確保難」30.9%(前期比▲2.4ポイント)はポイントを下げながらも8期連続の1位となった。2位「人件費の増加」24.0%(同▲5.0ポイント)は3期連続で2位となった。3位「仕入単価、下請単価の上昇」22.3%(同+2.3ポイント)は2期連続で3位となった。4位「新規参入者の進出や同業者の増加」20.2%(同+4.3ポイント)は前回順位6位より上昇。5位「購買ニーズの変化への対応」19.7%(同+1.1ポイント)は前回順位と同様。6位「大企業(大型店)進出による競争激化」17.1%(同+2.6ポイント)は前回順位8位より上昇し、8位「需要の停滞」15.9%(同▲3.2ポイント)は前回順位4位より下降した。14位「購買力の他地域への流出」4.0%(同+0.9ポイント)、15位「代金回収の悪化」3.8%(同+2.6ポイント)は前回順位より上昇した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	従業員の確保難	107	30.9%	— 1	11	生産設備の不足・老朽化	23	6.6%	— 11
2	人件費の増加	83	24.0%	— 2	12	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	21	6.1%	↓ 11
3	仕入単価、下請単価の上昇	77	22.3%	— 3	13	その他	16	4.6%	↑ 14
4	新規参入者の進出や同業者の増加	70	20.2%	↑ 6	14	購買力の他地域への流出	14	4.0%	↑ 16
5	購買ニーズの変化への対応	68	19.7%	— 5	15	事業資金の借入難	13	3.8%	↓ 13
6	大企業(大型店)進出による競争激化	59	17.1%	↑ 8	15	代金回収の悪化	13	3.8%	↑ 19
6	人件費以外の経費の増加	59	17.1%	— 6	17	在庫の過剰	6	1.7%	↓ 15
8	需要の停滞	55	15.9%	↓ 4	17	在庫の不足	6	1.7%	↓ 16
9	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	36	10.4%	— 9	19	金利負担の増加	3	0.9%	↓ 18
10	取引条件の悪化	24	6.9%	— 10	20	生産設備の過剰	1	0.3%	— 20

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。